

地域密着型金融の取組み状況（平成20年4月～平成21年3月）

利根郡信用金庫

項目	タイトル	取組み内容	成果（効果）
〔Ⅰ〕 地域密着型金融の 具体的取組み	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化		
	(1) 創業・新事業支援	商工会議所やベンチャー支援センターとの連携強化	沼田地域ベンチャー支援センターや各商工会議所・商工会との情報交換を行った。
	(2) 経営改善支援	経営改善支援の活動状況と改正金融検査マニュアルの活用による経営改善支援	<p>経営相談室（4名）は、経営相談室主導先として22先の支援活動を行っている。活動内容については、支援先企業を定期的に訪問することで経営者との信頼関係を構築し、実態把握を行いながら支援方法の検討を行う。取組みについては、月次試算表の徴求により、収支状況・資金繰り状況等の把握を行い、経営上の問題点を抽出し、各支援先の実態に即した経営改善支援策の提案や経営改善計画書の策定支援、群馬県中小企業再生支援協議会の活用や外部専門家との連携を図りながら取り組んでいる。こうした中で「貸出条件緩和が円滑に行われるための措置」によりキャッシュフローの捻出に重点を置いた財務改善にも取組み、企業存続にも力を入れている。また20年度より経営支援体制の強化と経営支援活動の拡充を目的とした営業店支援担当者を設置するとともに営業店主導支援先45先を選定した。経営相談室が営業店支援活動をサポートする体制を執り、20年8月に営業店支援担当者向けの研修を開催し、活動開始となった。活動内容については、経営相談室の活動内容と同様であり、財務諸表による経営分析と実質自己資本の把握を行うとともに経営者等のヒアリングを実施したうえで、「経営相談活動営業店管理表」を作成し、実態把握を行い、各支援先の実態に即した経営改善に取り組んでいる。</p> <p>なお、上記の経営相談室の活動状況（22先）は、4半期毎に経営陣へ報告書を提出。営業店の活動状況は、経営相談室に月報を提出して進捗状況を管理している。</p> <p>・20年度の経営相談室の活動状況 経営相談室支援取組み先22先 再生計画策定先へのフォローアップ13先、再生計画策定支援3先（うち計画策定完了先1先）、財務診断・経営指導等6先。上記のうち群馬県中小企業再生支援協議会の2次対応先は5先である。</p> <p>取組み先22先のうち、地場産業である温泉旅館が14先を占めており、前年度同様に温泉旅館の支援に特に力を入れてきた。</p>
	(4) 事業承継支援	M&Aのマッチング支援	・20年8月4日 信金キャピタル株式会社、株式会社日本M&Aセンター、株式会社群馬エム・アンド・エーセンターとの「M&A仲介業務に関する協定書」を締結。
			20年度の創業・新事業支援の実績はありません。
			今年度は、「貸出条件緩和が円滑に行われるための措置」により、経営相談室主導支援先22先のうち4先がランクアップ。同様に営業店主導支援先45先のうち5先がランクアップできた。また、経営改善支援を通じ経営者の意識改革が図れ、業績回復に繋がっているケースもある。
			20年度のM&Aの取扱い実績はありません。

項目	タイトル	取組み内容	成果（効果）	
〔Ⅰ〕 地域密着型金融の 具体的取組み	2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
	(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み	顧客ニーズを踏まえて創意工夫をこらした多様な融資	① 名称 中小企業者・個人事業主向け特別融資「ニューサポート」 ② 取扱期間 平成20年7月15日（火）～平成21年3月31日（火） ③ 融資対象先 法人および個人事業主のうち、当金庫自己査定債務者区分が「正常先」および「その他要注意先」 ④ 資金用途 運転資金および設備資金 ⑤ 融資限度額 1先 500万円以内 ⑥ 返済方法 分割返済 ⑦ 保証 ・法人の場合 … 原則、法人代表者の連帯保証 ・個人の場合 … 原則、配偶者もしくは後継者等の連帯保証	21年3月末において68件 194百万円の実績であった。
	(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み	「目利き能力」の向上、人材育成	「目利き力」の向上を目的とした外部研修への積極的参加、自金庫において外部講師による研修、自金庫内における研修の開催を推進する。 ・外部研修への参加 「目利き力実践講座」（全信協） 審査部代理 1名 「目利き力養成講座」（県信協） 前橋支店代理 1名 昭和支店係長 1名 「融資審査・管理講座」（関信協） 洪川支店係長 1名 （県信協） 中町支店係長 1名 新治支店主任 1名 ・外部講師による研修 「目利き力養成講座」（甲府信金・小越氏） 参加 29名 「目利き力養成講座」（T&K経営コンサルティング・高遠氏） 参加 53名 ・金庫内研修 「企業分析講座」（審査部主催） 参加16名 審査部セミナー第1回（審査部主催） 参加11名 審査部セミナー第2回（審査部主催） 参加12名 ・審査トレーニー実施 5店舗5名	「目利き力」の向上に繋がる研修等の受講機会は増加し、職員の基礎知識は確実に向上している。20年度は融資審査の経験の浅い職員を対象に審査部による審査部セミナーを実施し、基礎知識の向上を図った。
	3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献			
(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み	勉強会実施による情報提供・経営指導・相談	株式会社タナベ経営と業務提携を行い「とねしん新世代経営塾」を新規開講し、勉強会を下記の内容にて4回実施した。 6月18日「企業経営の原理原則」 8月21日「わが社の勝てる場はどこにあるか？」 11月6日「マネジメント力を強化する！」 2月18日「決算書を活かす！」 勉強会の他に、経営に対する情報提供として、経営情報誌「実践着眼」・FAXレポートを月3回塾生に配布。	地域の事業経営者の入塾を募り59名の塾生でスタートすることが出来た。経営コンサルタントとの情報交換を交え、意識改革や事業意欲の高揚、参加者同士の交流も図れたものと思われる。	
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	小中学生卓球大会の実施	・実施要項作成 ・後援依頼 ・会場確保 ・出場選手募集 ・大会実施	21年2月22日、沼田市民体育館において、275名の小中学生を集めて「第1回とねしん杯オープン卓球大会」を実施した。	